

○平成29年度地方創生推進交付金事業（みらいの「みたけ人」育成推進事業）

平成28年度に地方創生加速化交付金を活用して、企業や地域の需要などを取り入れ包括的に連携・協力する体制として「みたけ創生みらい人材育成協議会」を整え、地域の関係者が連携して様々な取組みを行ってきた。その結果、明らかとなった課題について、改善を行ったうえで取組みを継続することにより、町が抱える様々な課題の解決に取り組む人材の育成を行う。

◎地域の多様な関係者が連携したプログラムを行い、実体験の中で知識・技能、他者と協働する力を育成する。

◎地域課題解決型のキャリア教育などを開催し、将来の担い手確保や若者の雇用対策、人材育成に取り組む。

◎宿場の町並みを活用して、町の地域資源の活用を推進する人材を発掘し、育成する。

◎資金調達をする仕組みである「みんなのみたけファンディング活用サイト」の利用を促進し、地域の想い・夢が実現するまちづくりを進める。

以上、地域が一体となって、雇用対策、しごとづくり、地域資源の活用など地方創生に取り組む人材を育成していく。

No. 1

みたけ創生みらいの人材育成協議会等運営事業

「地元で働く」「地元を盛り上げる」をテーマに、地域の関係者が連携してみたけ創生のための様々な取組みを行っていく「みたけ創生みらいの人材育成協議会」を平成28年度に設置し、様々な取組みを実施した。取り組んできた内容や課題を、協議会メンバーにて情報共有し、一層の連携を充実させ、取組みを深化させる。



No. 2

地域課題解決型キャリア教育事業

《基本目標3》「しごと・経済が元気」

○施策1：産業・創業の振興と雇用の創出

・高校生などの若者を対象に、「担い手」や「雇用」に対する地域課題解決のためのキャリア教育プログラムを実施し、町内企業就業につながっている。地域や地元企業について「学び」「理解」するために取組みを一層充実させ、商工会、金融協会、工業団地立地事業者等とのワークショップや就業体験教育を通じて「地元で働く」ことを知って・学ぶ機会を創出する。



No. 3

御嵩あかでんランド開催補助事業

《基本目標4》「モノ・コトが元気」



○施策2：まちのオリジナリティを活かした観光振興

・平成28年度に題材を「名鉄広見線の魅力を高めるためのイベントの企画・運営」とし、地域課題解決の手法を学んだ。そのことを通じて、実行委員会組織が立ち上がったものの、人材力に欠け、自立するまでには至っていないなか、**更なる人材育成と充実を図る**ため、秋にイベント「御嵩あかでんランド」を行い、企画・運営を学び、取り組みを進展させる。



No. 4

みたけのええもん雇用創出事業

《基本目標4》「モノ・コトが元気」



○施策2：まちのオリジナリティを活かした観光振興

・御嵩町の特産品「みたけのええもん」のPR効果をプロモーションを通じ、生産者は手ごたえを感じた。販売の方法や場所などのノウハウを更に深めるため、**効果のあるPRを学び、販路の一層の拡大を進め、地域産業が活発化し、雇用創出につなげる。**



No. 5

みんなのみたけファンディング活用事業

《基本目標3》「しごと・経済が元気」

○施策1：産業・創業の振興と雇用の創出

・住民のまちづくり活動のため「みんなのみたけクラウドファンディング」を立ち上げ、活動の資金調達ができる仕組みができている。一層の住民によるまちづくり活動を加速させるため、多くの方に向けて「資金調達」実践セミナー等をきめ細かく実施し、それぞれのまちづくりへの思いの実現を目指すとともに、住民活動を一層活性化させる。



No. 6

外部人材招聘事業

《基本目標1》「環境のまちで元気」

○施策1：環境モデル都市を進める人づくり・場づくり

・園児や小学生、又は親子を対象として「読み聞かせ」を行う住民活動はあるものの、その手法や活動内容はまちまちである。幼い子や親子への「読み聞かせ」は、話す人や聴く人双方にとって地域とのつながりや地域を知るうえで大切である。そのための人材育成として「読み聞かせ講座」を実施し、「読み聞かせ」の人材充実とそれを聴く子どもや親子の地域参加を育む。



No.7

ITプログラミング人材育成事業

《基本目標2》「ひとが元気」

○施策2：子どもの「生きる力」を育む教育の充実

・ 高校生などの若者を対象に、ITを活用した地元の「仕事情報ナビ」や「企業紹介」、「就業体験」などを情報発信するためのプログラミング講座を実施し、講座を通じて地元での就業や地元で起業するイメージを持ってもらう。また、ワークショップなどを通じ、他地域から就業者など呼び込むサイトの魅力づくりも実施する。



No.8

環境教育事業

「基本目標1」 「環境のまちで元気」



○施策1：環境モデル都市を進める人づくり・場づくり

・県内唯一の環境モデル都市の取組みを伝え、将来の環境を担う人材を育成するため、**重点的に環境に取り組む先進地へ学生等を派遣**して、その取組みを学び、また、他の地域から学生などを招き、**お互いの活動や成果を発表する機会を創出**することで、まちへの「誇り」となる活動へつなげる。

・子ども達の環境への関心を高めるため、**環境教育教材として、公共交通をテーマとする紙芝居を製作**し、未来の環境を担う人材を育む。作成にあたり、**地域課題解決型キャリア教育事業と連携**し、高校生に参加してもらい、英語版の紙芝居作成も行う。また、ITプログラミング人材育成事業と組み合わせ、**紙芝居のデジタルコンテンツ化**を行って、普及を図る。



No.9

宿場まち人材育成事業

《基本目標4》「モノ・コトが元気」



○施策1：「みたけ暮らし」の価値の磨き上げによる住みたい、住み続けたい環境の整備

・中山道御嶽宿や伏見宿があった宿場まちとして、おもてなし団体の活動はあるものの来訪者の大きな吸引力に至っていない。その「原動力」「地域力」を高め、御嵩の地域資源の魅力発信のため、1つの解決課題として

「空き家となっている古民家」について、活用方法を含め来訪者おもてなしの担い手となる人材を発掘し、セミナーやワークショップ、アイデアソン、プレイベント等を開催することで、来てみたくなる「みたけ」を創出する活動を担う人材を育成する。

